

**平成24年度 事務事業評価シート**

<b>事業の概要</b>	事務事業名	老人クラブ支援事業						担当部	健康福祉部							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	長寿介護課							
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	長寿福祉係							
	総合計画 分野別計画	主目的	3 保健福祉		13 高齢者福祉		1 高齢者の地域活動を支援する									
		副目的														
	予算区分	款	3		項	2		目	1		大	5		中	2	
	根拠法令・個別計画	小牧市老人クラブ連合会運営要綱、小牧市老人クラブ運営要綱														
	実施・運営方法 ※費用合計に占める 経費の内訳(割合)	直接実施・ 運営	2 %		委託	2 %		助成	96 %							
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)	高齢者が家庭や地域等社会の中で豊かな経験と知識・技能を生かし、地域への参加と協力を を行い、生きがいと社会参加を促進する。														
	内容 (手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人クラブ連合会補助金(1,522千円) 特別事業24万円、一般事業44万円、クラブ員人数に140円を乗じた額を合計した金額 を老人クラブ連合会に対して補助金として支給。 (特別事業:市老連の広報誌発行) (一般事業:臨時職員賃金、総会・クラブ大会の運営費)</li> <li>・単位老人クラブ活動事業費補助金(5,400千円) 1クラブ当たり6万円/年の補助金を支給。ただし、50人以上のクラブには50人を超える 人数に200円を乗じた額を加算。</li> </ul> <p>【直接経費の主な内訳】 指導者養成講座委託 200千円 育成事業補助金 6,923千円</p>														
受益者負担	無															

			単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額	
	<b>コスト</b>	<b>費用</b>	直接経費		千円	7,330	7,307	7,147
正職員			従事者数	人	0.10	0.10	0.00	0.00
			人件費	千円	531	531	0	0
その他職員			従事者数	人	0.00	0.00	0.20	0.20
			人件費	千円	0	0	990	990
費用合計			千円	7,861	7,838	8,137	8,871	
対前年比		%		99.7	103.8	109.0		
<b>財源</b>	一般財源		千円	5,572	6,025	6,525	6,570	
	国・県支出金		千円	2,289	1,813	1,612	2,301	
	その他財源		千円	0	0	0	0	

業	活動指標名		単位	H21	H22	H23	H24
	団体数	団体	目標	86	86	86	86
			実績	85	85	83	
			目標				
			実績				
			目標				
実績							
績	成果指標名		単位	H21	H22	H23	H24
	会員数	人	目標	6,300	6,340	6,380	6,380
			実績	6,258	6,192	6,017	
			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成23年度の実施結果	事業の達成状況	老人クラブを通じて、生きがいと健康づくりなど多様な活動への参加を推進し、地域社会に貢献できていると考える。ただし、会員数については、昨年度よりも減少し、目標も達成ができなかった。		
		事業実施における課題等	老人クラブへ加入する若年高齢者が少なくなっている。高齢化率の伸びに比べて会員数は増えておらず、PR手法等を見直す必要がある。		
		事業を縮小・廃止したときの影響	老人クラブ連合会及び単位老人クラブにおいて、市運営補助金の割合が多いので、事業内容が縮小し、高齢者の生きがい活動などが減少する。		
	今後の事業の方向性	方向性の判定	現状維持		
		判定理由	今後の高齢社会において、老人クラブ活動による高齢者の社会参加や地域社会への貢献は必要性が高く、今後も老人クラブに対する支援は必要であるため。		
		改善案等	単位老人クラブ会長を通じてPRする等周知方法についてきめ細かく行う。		

二次評価	方向性の判定	判定理由
	現状維持	一次評価のとおり。高齢化が進む中、今後、ますます必要な事業であるが、団体数、会員数ともに減少していることから、団体数、会員数の増加に向けた取り組みが必要である。